



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発行者 情報宣伝部
2024年11月14日 No.818

年末手当2.8ヶ月+0.1ヶ月回答に対して 社員から怒りの声が続出！

- ・ またもや会社の出し渋りに対して非常にガッカリしている。現場で奮闘している社員にしっかり報いるべきだ！（関東）
- ・ エリア管理業務などを兼務しているが、仕事がきつくなる一方でせめてボーナスだけでも報いて欲しかった。会社は「社員の頑張りに報いて」と言うが、この支給額ではまったく感じない。こんなことをしておいて「人手不足」なんて言って欲しくない。（上信越）
- ・ 少なすぎる！物価上昇や構造改革の取り組みを踏まえて0.1ヶ月分を足します？まったく理解できない！0.1ヶ月分でどうやって物価上昇に対応するのか聞きたい！（上信越）
- ・ 会社の支給額は低すぎです。基本給やその他の手当は日々の生活給であり、ボーナスは半年の頑張りに対しての部分。「半年の頑張りがそんなもんなのか！」と不信感がわきます。先行き不透明なのは誰もが一緒。世の中は常に流動しているのだから、これからも先行きが「透明」になるはずがない！いい加減しっかりと社員の声に向き合って欲しい！（上信越）
- ・ 0.1ヶ月分は雀の涙にもならない。頑張ってきた社員にもっと出せるはずだ！（上信越）
- ・ 儲かっているときに上げなければ社員のモチベーションが上がらないどころか、下がってしまう。生活実感を受け止めてはいない。もう一段の増収が必要なのは社員の家計だ！（上信越）
- ・ 2.9ヶ月の数字を見てがっかりした。会社は社員の頑張りを理解していないことをあらためて強く感じた。「残念！」の言葉しか出ない。（上信越）
- ・ 多くの社員が休日勤務をして鉄道運行を支えてきた。個人でも委員会活動や普通だったらしなくて良いことを必死に行い、あげくに片道2時間近くかけて自宅に帰り、また出勤。会社に尽くせ！上司に尽くせ！だの、こんな少ないボーナスなら今に誰も協力しなくなる。（上信越）
- ・ この低額の2.9ヶ月に怒りや不満がない社員は1人もいない！（関東）
- ・ 少ないです。現在は会社施策もあり、社員は1人何役も業務をやらなければいけない状況になっている。その分はしっかりと期末手当で報われなくてはやっていられない！（上信越）
- ・ 2.9ヶ月は少なすぎる。頑張ってきた社員の奮闘に答えていない！（上信越）
- ・ 納得いかない！たった0.1ヶ月分では物価上昇に追い付けない。管理者はそんなことは言えないのだろうけど、彼らも絶対納得していないと思っているはず。（上信越）
- ・ がっかりした。モチベーションが下がる。会社は社員を気持ちよく仕事をさせることが下手。プラス0.1ヶ月分の意味が分からない。（関東）
- ・ プラス0.1ヶ月では、とてもじゃないけど物価上昇分もまかなえない。そもそもこういう嫌味な書き方がいやだ。（上信越）
- ・ 業績好調でこの支給額では希望を持ってない。何をモチベーションに進めばいいのか！（東北）

3. 8ヶ月要求の実現に向けて一緒に声を上げよう！